

## V. 在宅療養者の食環境整備に関する調査のまとめ

### 第1章 調査から見た自宅介護における食の課題

#### 第1節 介護者のリスク把握の不足

本調査の結果、介護者は状態の確認・把握はできても、状態が指すリスクを正しく理解できていないことが分かりました。このことが、望む対応としてレシピ集やマニュアル本などの簡易的な情報提供が多いことに繋がっていると思われます。特に摂食・嚥下障害は疾患ではないため、病名が付かず、介護者が正しく危険性や注意点を理解することが困難と思われます。

#### 第2節 病院の看護師・管理栄養士から見た課題

本調査の結果、病院で退院時支援に関わる看護師・管理栄養士は退院後の患者の食生活について不安を感じており、退院後も継続的な支援が必要ということが分かりました。摂食・嚥下障害や栄養障害に対する必要性を認識している専門職では、レシピ集やマニュアル本などの簡易的な情報提供ではなく、在宅療養者の状態や介護者の能力に合った個別の支援が必要と考えていることがわかりました。

#### 第3節 介護者や看護師・管理栄養士のニーズと高齢者用レトルト介護食と配食サービスのギャップ

病院の管理栄養士は高齢者用レトルト介護食について説明を行っており、また病院の看護師・管理栄養士は配食サービスなどの利用についても必要性を感じているという結果でした。

一方、介護者は一般のレトルト食品や惣菜の活用が多く、高齢者用レトルト介護食や配食サービスをあまり利用されていないことがわかりました。

本調査の結果、高齢者用レトルト介護食は介護者が購入先として挙げた「スーパーマーケット・薬局」での取り扱いは少なく、「専門の卸問屋」や「通信販売」などでなければ購入できない商品が多く、介護者が購入先の情報を把握できないことが、「介護食の種類を増やしてほしい」などのニーズとして挙がってきていると考えられます。

また、高齢者用レトルト介護食の取り寄せ調査の結果、メーカー毎に使用している物性基準が異なり、また中身も製品により異なる食品物性であり、誤嚥や窒息のリスクが高い摂食・嚥下障害がある方は注意が必要なものが多くありました。病院の管理栄養士が各物性基準について複合した指導を行うケースも多く、介護者が理解できているか不安を感じていることがわかりました。

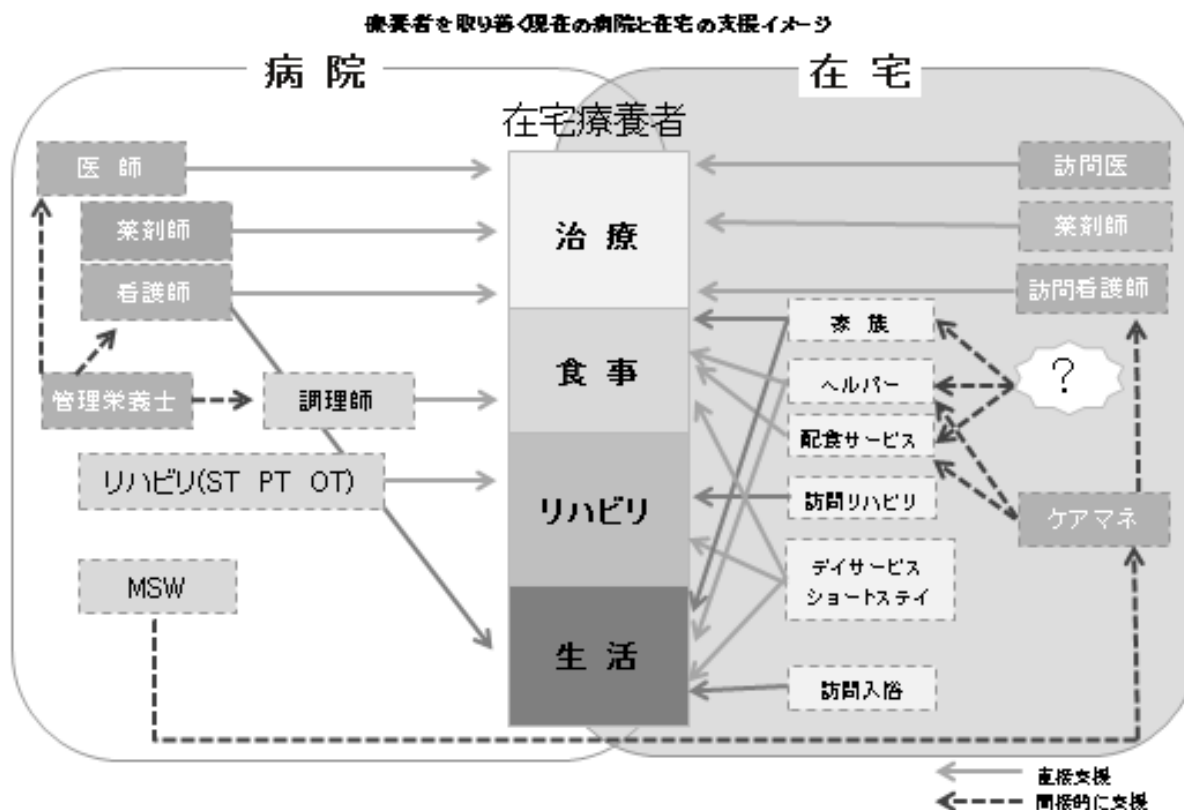
配食サービスは、高齢者向けの配食サービスが地域によって数が限られることもあり、また味付けが高齢者向けであっても、硬さなどの面では分類にあてはまらないものと差がなく、咀嚼や嚥下機能の低下には対応できないものが多いことがわかりました。

食の確保も重要な課題ではありますが、その選択に必要な食品に関する知識や情報、症状の理解についても今後対策が必要と考えます。

## 第2章 今後の対応

調査の結果、自宅介護において食に関する情報や支援が不足していることが分かります。現在の在宅での支援を見てみると図V-2のようになると考えられます。

図V-2：療養者を取り巻く現在の病院と在宅の支援イメージ



この図から分かるのは、食に関する支援の中で、自宅介護の場では、調理者は家族以外にも訪問介護や配食サービス・デイサービス・ショートステイなど複数存在しますが、療養において重要となる食事の内容を調整・サポートする存在が抜け落ちています。本調査の結果、今後必要となるのは、単なる「食の確保」ではなく、疾患・身体機能・栄養状態・嗜好・家族の介護力・経済状態などがからむ総合的な「食事環境」を整えることであると考えます。

このことから、今後の対応として、介護者などを中心とした調理者への「食事環境」を整えるための総合的な支援が必要と考えます。本調査の結果、介護者や病院の看護師・管理栄養士が必要と感じる支援内容は慢性疾患に対する食事療法だけにとどまらず、とろみの付け方や食べやすいレシピ、弁当の選び方など多岐に渡ります。現在の医療・介護保険の管理栄養士の訪問栄養食事指導では対応が困難な支援内容であることから、その他のしくみによる介護者への情報提供や退院後の継続支援が必要と考えます。

また一方で、介護者は「むせ」などの症状が誤嚥や窒息に繋がる危険性があることを十分できておらず、レシピやマニュアル本など簡易的な方法での解決を望む傾向があります。このことから、問題を認識してもらうための啓発活動を併せて行う必要があると考えます。

本事業では、調査結果を基に、介護者向けに上記に挙げた課題啓発を目的としたリーフレットとポスターを作成しました。

## <参考文献>

- ・聖隷嚥下チーム著：摂食・嚥下ポケットマニュアル第3版.医歯薬出版，2011.
- ・菊谷武著：「食べる」介護がまるごとわかる本,メディカ出版，2013.
- ・宮城県リハビリテーション支援センター：摂食・嚥下障害の基礎と観察のポイント, 2008

本調査は、山形県の委託を受け、平成 25 年度在宅療養に係る食環境体制整備事業により実施したものです。

「平成 25 年度 在宅療養者の食環境整備に関する調査報告書」

平成 26 年 3 月発行

一般社団法人 ゆにしあ

〒990-0811 山形県山形市長町 1 丁目 16-24 C 棟

TEL. 023-666-6244

FAX. 023-666-6244